



鳥獣害防護柵の設置による農地の保全

中山間農業地域

タシロスイリクマイ

田代水利組合（福岡県うきは市）

- 本地域は、中山間に位置する地域で、農村地域の過疎化による農業従事者の高齢化、過疎化等の進行に伴い集落機能の低下がみられ、共同活動の困難化により担い手農家の負担増が懸念される。
- 農地はイノシシにより食害や掘り起こし等の被害が多数発生し、耕作を困難としている状況であったが、電気柵の設置により防止した。

【R3地区概要】

認定農用地面積4ha
(田3ha、畑1ha)

・資源量 水路1.0km
農道0.3km

・主な構成員
農業者、自治会、子供会等

・交付金 約1百万円

農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 受益農家がのり網やタン板等を用い、自家施行で侵入防止柵を整備していたが、経年劣化によりイノシシの被害が増加した。



水路の管理

取組内容

- 地域で一体的に電気柵を設置し、草刈りなどの維持管理を共同で取り組んでいる。



農道の管理

取組の効果

- 電気柵を一体的に設置することで、設備費用の削減が図れた。
- 設置や施設管理に係る作業を共同で行うことで負担の軽減を図った。



電気柵の管理